

しば子先生の

ミニニニ 芝生教室



先生：コーティング肥料の溶出パターンは良く分かったかしら？

生徒：はい、初期溶出型、リニア型、シグモイド型の3つがありました・

先生：そうね、芝生にはリニア型の溶出が適していると思うわ

生徒：そうですね・毎日お茶碗一杯の食事で健康維持ですね・

先生：しかし芝生用の小さい粒で安定した薄い樹脂の被覆をするのは簡単なことではないわ・長い溶出期間にするためにあるメーカーでは2時間以上をかけて最高15回被覆を繰り返して完成するのよ・

生徒：え～2時間もかけて15回も被覆するなんてすごい手間がかかってますね・私は霧吹きみたいのでシュッとかけてハイ終わり、かなと思ってました・

先生：そんな簡単にはいかないのよ・当然価格も高くなるけど、他の緩効性肥料にはない優れた安定性があるのでそれだけの価値があるということね・

生徒：なるほど・

先生：それに、日本のような雨が多くて気温が高い地域ではすぐ適していると思うわ・

生徒：土壤微生物や水による分解が無いということですね・

先生：そのとおり・するどいわね・このリニア型の樹脂被覆の溶出は基本的に“温度”にだけ影響を受けるのよ・土壤条件、CECや有機物量等、pHにも影響を受けないわ・

生徒：すごいですね・でも温度に影響を受けるということは、夏は溶出が早くなるということですよね・

先生：その通りね・しかし逆に言うと冬は溶出しなくなるのよ・つまり芝生が成長する時期に溶出して、寒くなって成長しない時期には溶出が止まる・そしてまた暖かくなると溶出が始まるのよ・

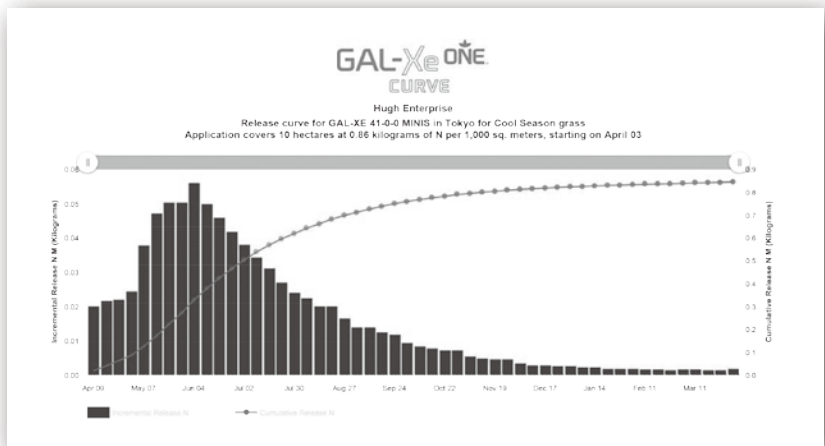
生徒：それってホントに無駄が

ないですね・

先生：そうなの・その温度で溶出が変化するので各メーカーのカタログには何度の温度条件で何週間、何か月の溶出という書き方で製品の性能を表しているわ・

生徒：なるほど・単純ですが複雑な土壌条件下でも安定して溶出することが可能だからこぞできる表示というわけですね・微生物分解や加水分解の肥料ではそうは行かないですからね・

先生：そのとおり・だからメーカーでは世界各地の年間の気候条件を事前に入力して、どの樹脂被覆



<http://www.simplotgalxeone.com> より (英語表示のみ)

肥料をm何グラム、何月何日にどの地域で播くとその後どのように溶出するか、コンピューターで計算してグラフ表示するソフトを提供しているわ・これを見れば次にいつ肥料を撒けばいいか一目でわかるし、肥培計画のシュミレーションも自由にできるわね・

生徒：コンピューターで肥料の溶出が計算できるなんてまるで未来の肥料ですね・

先生：そうね、この米国シンプロット社のギャラクシーワン樹脂被覆の被覆技術は米国のNASA(アメリカ航空宇宙局)がスペースシャトルの胴体を被覆するために開発した特殊な技術を利用して作られた最新の樹脂被覆肥料なのよ・まさに宇宙開発の技術から生まれた未来の肥料と言ってもいいわね・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

